

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第280号(平成21年4月15日発行)

(今週の報道発表)

「新たな温室効果ガス削減環境事業モデル」の新規募集について

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000026.html

(平成21年4月8日)

【国土交通省】

=====

(RPPC 活動予定表)

4/22 調査・研究部会 汚染土壌事業化分科会

15:00 ~ 鹿島建設(赤坂別館) 会議室

=====

(RPPC からのお知らせ)

リサイクルポート推進協議会 総会決まる

平成21年度の「リサイクルポート推進協議会 総会」を6月4日(木)開催します。また、今年
は総会の前後に、協議会活動の成果を報告する「RPPC TOPICS」と、会員相互の情報交換を
目的とした「会員交流会」を開催します。こちらの方も併せてご案内申し上げます。詳細は後
日郵送にてお知らせ致します。会員皆様のご出席を宜しく申し上げます。

【 総 会 】

開催日時:平成21年6月4日(木)16:00 ~ 17:00

場 所:九段会館 3階「真珠の間」

【RPPC TOPICS】(総会開催前)

開催時間:14:30 ~ 15:45 (場所:総会と同一会場)

成果報告:「リサイクルポート実証実験報告」

「静脈物流用特殊コンテナ&前処理設備事例紹介」

【会員懇親会】(総会終了後)

開催時間:17:00 ~

場 所:九段会館 2階「鳳凰の間」

参 加 費:3,000 円/人

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

(リサイクルポートに関連する最新の情報)

- 1. 国交省港湾局、21年度に『プロジェクトX』を106港で試行
- 2. 21年度の港湾整備事業新規着工箇所
- 3. 平成21年度の「みなと振興交付金」に八戸港と神戸港を新規採択

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

(リサイクルポートに関連する最新の情報)

- 1. 国交省港湾局、21年度に『プロジェクトX』を106港で試行

国土交通省港湾局は港湾等に係る公共調達改革への取組を強化するため、21年度に『プロジェクトX』実施内容の充実・深化を図るとともに、適用工事数も拡大する。21年度のプロジェクトXでは、「品質確保」、「双務性の向上」、「キャッシュフローの改善」等への取組をより具体化するため、総括検査職員等の配置による施工プロセスチェックの充実強化や入札・工事説明会、見積参考資料の入札前開示の導入など、昨年度までの内容に加えて発注者の説明責任、発注者・受注者間の双務性向上策を強化する。またクイックレスポンスや書類30%オフなど、事務処理の迅速化を行って、決定事項が施工現場に早く反映できる体制づくりも導入する。

『プロジェクトX』は平成19年度に全国の施工現場の中から10件で先導的に始まり、20年度は53件の工事で試行を行ったが、21年度は新たな施策も加えた上で、全国106件に拡大して試行し、将来の本格実施を視野に内容の充実を目指す。

【港湾空港タイムス】

.....

2. 21年度の港湾整備事業新規着工箇所

国土交通省港湾局は21年度の港湾整備事業新規として、12事業を採択した。新潟港東港区西ふ頭地区国際海上コンテナターミナル事業＝整備期間21～23年度、総事業費77億円、名古屋港鍋田ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業＝21～27年度、264億円、川崎港東扇島～水江町地区臨港道路整備事業＝21～28年度、540億円、徳島小松島港沖洲(外)地区複合一貫輸送ターミナル整備事業＝21～26年度、127億円、仙台塩釜港仙台港区中野地区複合一貫輸送ターミナル改良事業(耐震)＝21～26年度、101億円、伊万里港七ツ島地区臨港道路整備事業＝21～25年度、44億円、茨城港常陸那珂港区中央埠頭地区廃棄物埋立護岸整備事業＝21～29年度、20億円、姫川港西ふ頭地区国内物流ターミナル整備事業＝21～25年、39億円、名古屋港港内地区廃棄物埋立護岸整備事業＝21～40年度、64億円、宇部港栄川運河地区港湾公害防止対策事業＝21～22年度、8億円、水島港玉島地区航路拡幅事業＝21～25年度、17億円、博多港中央ふ頭地区国際旅客船ターミナル改良事業＝21～22年度、28億円。

【港湾空港タイムス】

.....

3. 平成 21 年度の「みなと振興交付金」に八戸港と神戸港を新規採択

国土交通省港湾局は平成 21 年度の「みなと振興交付金」として、八戸港みなとの賑わい・交流づくり支援事業、神戸港兵庫運河の魅力再発見プロジェクト事業、を新規採択した。八戸港みなとの賑わい・交流づくり支援事業は、八戸港河原木地区において、親水空間を創出するとともに、親水空間と周辺観光資源が連携した観光エリアを形成し、みなとの賑わい向上を図る。河原木地区に緑地を整備し、隣接する大型商業施設群と一体的な親水空間を創出。河原木地区を起点とした周辺観光資源を結ぶ海陸連携の観光ルート形成を目指した海上バス運航の社会実験を行う。

計画期間は 21～25 年度、総事業費は 5 億円(うち交付金 2.2 億円)。

兵庫運河の魅力再発見プロジェクト事業は、安全・安心の確保と親水性・回遊性の向上を図るため、運河沿いの緑地を整備。また既存の施設を活用しつつ子供たちとの環境・歴史学習を安定的に実施するための施設を整備する。

計画期間は 21～25 年度、総事業費は 3.5 億円(うち交付金 1.8 億円)。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者:RPPC広報部会

部長:本野 晃郎 パシフィックコンサルタンツ(株)

部会員:藤原 敏光 五洋建設(株)

門脇 直哉 新日本製鐵(株)

座間味 康喜 東京都

リサイクルポート推進協議会事務局

(財団法人 港湾空間高度化環境研究センター内)

担当:首藤、新谷、大田

URL:www.rppc.jp E-mail:rppc@wave.or.jp

会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####